

生徒の「気づき」から学びを深化させる錦江湾SSH探究プロジェクト

課題研究プログラム「気づきの階段」に沿った評価システムの構築

● ルーブリックを作成し、事業ごとに評価を行いそのデータを蓄積・比較することで生徒の変容を捉える

● 蓄積したデータを基に、本プログラムへフィードバックを行うことでプログラムの改善を図る



STEP5 自分自身への気づき

STEP1~4の過程を通じて、生徒自身が本当にやりたいことや将来の目標、夢に気づけるようなしかけを行い、探究心にあふれた科学技術人材を輩出していく

- 先輩からのアドバイス講座II-2
- 論文作成
- 各種研究発表大会への参加

STEP4 やりがいへの気づき

自身の研究の振り返りや各種発表大会への出場を通して、自身の研究の意義を感じ、研究を深めていくことへのやりがいや楽しさの気づきに導いていく

- 中間発表会②
- 各種研究発表大会への参加
- 課題研究発表会
- リテラシー講座II-2

STEP3 学びの必要性への気づき

各教科の授業だけではなく、多種多様な関係機関との連携学習などの事業を実施することにより、学んだことを生かして課題研究を深化させられることに気づき、普段からの学びが必要であるという気づきにも導いていく

- リテラシー講座・II-1
- 大学連携アドバイス会
- 中間発表会①
- シリーズ科学講座II
- 先輩からのアドバイス講座II-1
- 大学連携アドバイス会2（普通科のみ）
- アカデミックイベント（理数科のみ）

STEP2 研究課題への気づき

コンテストやフィールドワーク等の社会や自然科学との関わりを生かした事業を実施することにより、研究課題につながる気づきを促し、生徒・教職員で議論することで研究課題の発展性を見いだす

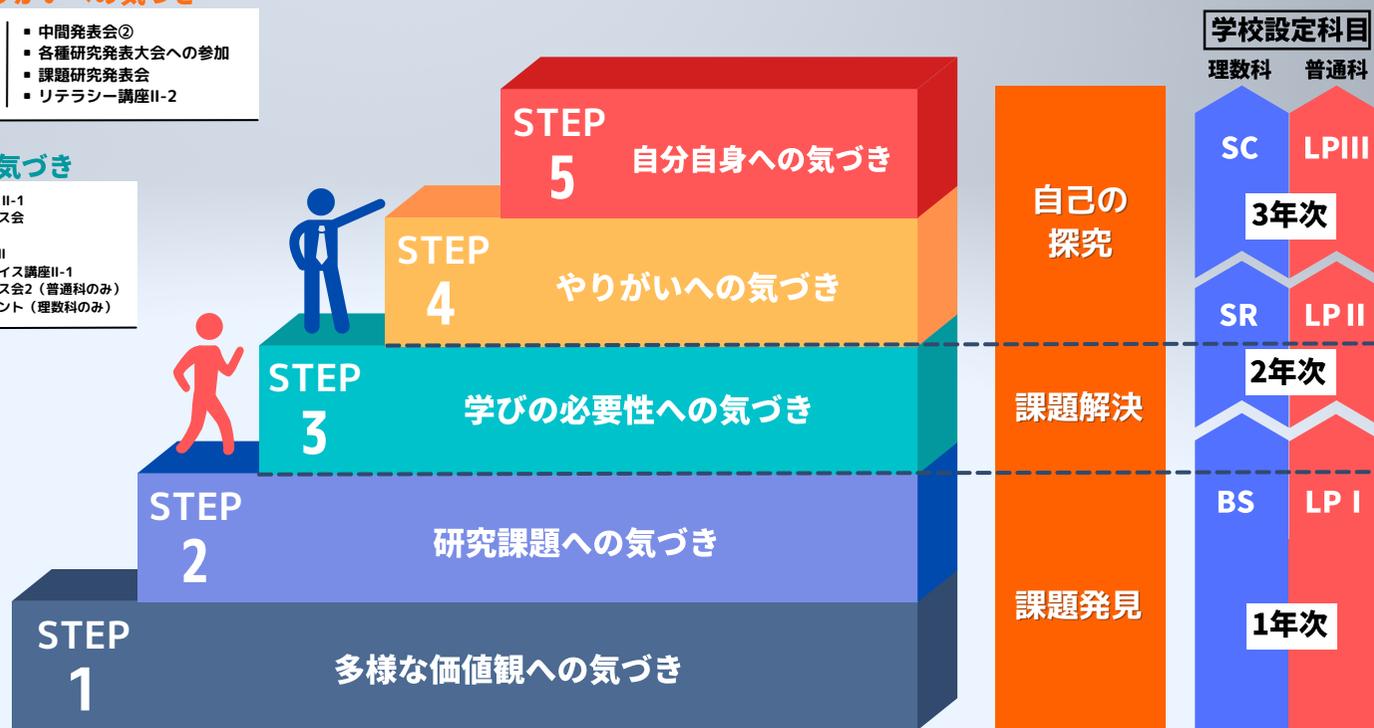
- 気づきのライブラリー
- 研究課題検討会
- 研究課題発表会
- フィールドワーク
- 気づきのコンテスト
- 気づき新聞ポスターコンテスト（普通科のみ）

STEP1 多様な価値観への気づき

科学系研究者や技術者、社会で活躍する人材の講演を通して、気づきの大切さやそこから生み出されていく新たな展開を知り、今後の研究活動の基礎を築く

- シリーズ科学講座I
- 研究者講義「気づきから始まる課題研究の進め方」
- 先輩からのアドバイス講座I
- 気づき発見講座
- 卒業生からのアドバイス講座
- 先輩の研究からの気づき発表会（普通科のみ）

課題研究プログラム「気づきの階段」によって科学技術人材の育成を目指す



課題研究プログラム「気づきの階段」を支える要素

SSH I, II期 課題研究に取り組む基盤の構築

SSH III期 研究開発課題「生徒主体の深い学びと広い学びを目指す錦江湾SSH探究プロジェクト」

- 全校体制確立...**
- 教科の枠を超えた指導体制を確立したことに加えて、各係に複数のファシリテーターを配置し、実践を引き継ぎやすい体制を構築した
 - 理数科・普通科ともに、生徒が主体となって研究課題の設定ができるようになった
 - 文系を含む生徒が対象となったことにより、SDGs・医療などの幅広い分野を扱うことが可能になった

鹿児島県SSH連絡協議会設立...課題研究の成果発表・SSH事業に関する情報交換の場

課題研究強化チーム新設

- 各研究班の担当教員への研究内容に関するアドバイザー役となる
- 生徒の大会出場を促進させることで、研究活動を加速させる
- 課題研究に関する全ての教職員での研修会を企画・実施する
- 生徒の研究内容を踏まえ、進学先の提案・アドバイスをを行う

学校体制

- 全校体制
- サイエンスクラブの活性化
- 教科横断的な授業
- 他校種との連携授業
- 課題研究サポートリスト
- SSH図書館
- SSHミュージアム

SSH特別事業

- GCS講座
- 国際サイエンス研修in沖縄
- 海外サイエンス研修
- 理系女子応援プログラム
- 小中学校出前授業
- 中学生SSH体験入学
- 地域小中学校自由研究お助け隊
- 錦江湾高校主催小中学生探究コンテスト
- 気象台・科学館・博物館ボランティア
- 産業界活用